

当社は持続可能な社会の実現にむけて、2022年2月エネルギー起源二酸化炭素排出量の目標となる「HIOKIサステナビリティ宣言」を策定しました。「HIOKIサステナビリティ宣言」では、2025年度までにスコープ1、スコープ2のカーボンニュートラル達成と2035年度までにスコープ3のカーボンニュートラル達成を掲げています。

今回の計画では、本社敷地内社員駐車場に太陽光発電設備(ソーラーカーポート)を導入します。これにより、本社工場で消費されている電力の一部を自家発電に転換できるようになります。エネルギー起源二酸化炭素排出量と電気料金の削減による付加価値の創出を図り、炭素生産性の向上を目標とします。

<事業適用計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年12月～2024年12月

2. 生産性向上目標

炭素生産性14.1%向上を目標とします。

3. 前向きな取組の内容

太陽光発電設備（ソーラーカーポート）の導入により、エネルギー起源二酸化炭素排出量「401t-CO₂/年」の削減（2022年度比15%減）をすることで炭素生産性を向上させます。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<設置場所及び設備のイメージ>



本社工場従業員駐車場



ソーラーカーポートイメージ図